

駐日チェコ共和国 特命全権大使(駐日大使)が 町の復興状況を視察

4月19日、チェコ共和国のマルティン・トムチョ駐日大使が、震災から10年、が経過した町の復興状況を視察しました。
チェコは、平成24年7月、震災で被災した東北各県の子供たちを同国に招待する「保養滞在プロジェクト」を実施。浪江町から中学生34人が参加したことをきっかけに交流が始まりました。
日本とチェコは、昨年、外交関係を開設してから100周年を迎えており、今回の視察は、同国大使による交流地域訪問活動の一環として実施されました。

トムチョ駐日大使は、はじめに世界最大級の水素製造施設「福島水素エネルギー研究フィールド」(棚田産業団地内)を視察した後、大平山霊園(請戸地区)を訪問。浪江町東日本大震災慰霊碑に花を供え、黙とうをささげました。

その後、日本・チェコ交流100周年を記念したパネル展示会を開催している「道の駅なみえ」で吉田町長や笠井教育長と懇談。トムチョ駐日大使は、「子供たちの交流はもちろん、チェコでも研究が進む水素やロボットなどの分野においても交流を深めていきたい」と話しました。



日本・チェコ両国の国旗を手に



水素関連施設を一望できる高台で、職員が説明



献花し、黙とうをささげるトムチョ駐日大使



パネルの前で両国の交流の歴史を紹介するトムチョ駐日大使(右)。写真中央は日本・チェコ友好議員連盟に所属する増子参議院議員



なみえ創成小学校・中学校の今を伝える

なみえ創成通信

学校の基本理念 子どもたちの生きる力と夢を育み、地域の未来を切り拓く学校



4月6日、小学校4人、中学校5人の新入生を迎えて「合同入学式」が行われ、厳かな雰囲気の中、新入生たちは、夢と希望を抱き真剣な態度で式に臨みました。今年度も「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため、少人数での実施となりました。なお全校生は、小学校22人、中学校9人となり、開校以来、最多の人数となりました。中学校では翌日、オリエンテーションが行われ、自己紹介をしたり、生活のきまりを確認したりしました。また小学校では、4月16日、開校後初めて、徒歩による「春の遠足」を実施し、地域について深く学びました。



なみえ創成小・中学校合同入学式



オリエンテーション



春の遠足(大聖寺見学)

なみえ創成小学校・中学校ブログ

なみえ創成

検索

☎ なみえ創成小学校 ☎ 0240(23)5335 ☎ なみえ創成中学校 ☎ 0240(23)5336

なみえ春まつり ～「浪江女子発組合(JA浪江)」登場～



会場にあたたかな笑顔が咲く

4月11日、浪江町役場駐車場を会場に、「なみえ春まつり」が開催されました。雲一つない晴天の下、メインステージは、浪江町を本拠地として活動するよさこいチーム「Wonderなみえ」によるパフォーマンスからスタート。

続いて、浪江町から元気を届けるご当地アイドル「浪江女子発組合(JA浪江)」による「第5回定期大会～青空の下で、また君と。～」が開催されました。

人気アイドルグループ「ももいろクローバーZ」の佐々木彩夏さんが総合プロデューサーを務める「浪江女子発組合(JA浪江)」は、令和元年11月に結成して以来、浪江町で定期大会を行ってきましたが、「新型コロナウイルス感染症」の影響により延期・中止が重なり、今回、感染対策を徹底し、観客を福島県内に在住の人に限定したうえで、421日ぶりの町内での開催となりました。

ステージ上では、町の伝統行事「安波祭」や新春の恒例イベント「あるけあるけ初日詣大会」をイメージして作られた楽曲などが披露され、町民やファンの皆さんは、大いに盛り上がりました。



「Wonderなみえ」の迫力のパフォーマンス



町職員による「地域おこし協力隊員」募集の案内も



浪江を「春色」に染めるステージ



観客との一体感が高まる

まちの話題

皆さんの身の回りにある楽しい話題などの情報を募集しています。

☎ 企画財政課情報統計係
☎ 0240(34)0241

「なみえプロモーション課」発足

4月1日、総務省が推進する「地域おこし企業人交流プログラム」により「ソフトバンク株式会社」から派遣された三和真吾さんと、「浪江町地域おこし協力隊」に採用された庄司結衣さんの2人が、「なみえプロモーション課」に所属し活動を開始しました。

三和さんは、これまで「ソフトバンク株式会社」CSR(※)本部に所属し、東日本大震災の復興支援活動などに、責任ある立場で携わってきました。

また、大分県出身の庄司さんは、作業療法士から「浪江町地域おこし協力隊」に転身。この春、浪江町に移住してきました。

「なみえプロモーション課」は、町が抱える課題について、外部の目線を活用し解決を目指すチームで、今後、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用した情報発信や、浪江町の特徴を生かした商品開発などを通じて、町の魅力を発信・創造・発掘する取組を進めていきます。

※Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)の略。



委嘱状を手にする三和さん(左)と庄司さん(右)

☎ 企画財政課定住推進係
☎ 0240(23)5764